

事業番号	02 07 02	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	集落「再熟」、実施モデル地区支援事業費			担当課	部局	企画振興部	
					課・局・室	地域振興課	
総合5か年計画	プロジェクト	6-1-1 誇りある暮らし実現プロジェクト			E-mail	shinko@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	2-1 魅力ある地域の創造と発信 3 元気ある地域づくりの促進			実施期間	H25	～ H28
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	5 賑わいのある快適な健康長寿のまち・むらづくり					
	施策展開	4-(2)信州に根付くつながりの継承 (イ)住民主導による地域の活性化					

1 事業の概要

目指す姿	市町村と住民が一体となって本来の力を発揮し地域の存続のために取り組むことにより、住民が自らの暮らす地域に誇りと自信を持ち、「信州の宝」である美しい農山村が守り育てられている状態を目指す。		
現状 (予算編成時)	<p>○中山間地域等では、人口減少や少子高齢化が急激に進行。</p> <p>○県内の過疎地域では、65歳以上人口が50%以上の集落は400にのぼり、とりわけ10年以内に消滅すると危惧される集落は29ある。</p> <p>○農山村を支える集落において、人々の暮らしの原点である「絆」が壊れようとしており、このままでは、文化・歴史・景観という無形の財産や、農地・山林という「ふるさと」の基盤も壊れてしまう危機に直面している。</p>		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 市町村と住民が一体となって行う地域の存続に向けた取組を県が総合的に支援することで、先導的な役割を果たし、他地域における取組を促進する必要があるため。	
	県民との協働による実施:	実施中	

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)			
	○「集落「再熟」、ビジョン」を具体化するための実証実験等の取組を開始した地区 1			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H28実施内容	H27 (当初) / H28 (要求) / H28 (予算案)
	1. 集落「再熟」、実施モデル地区支援事業	補助金・交付金	○ビジョンを具体化するための実証・準備の支援 ・補助対象:ビジョンを具体化するための実証実験等に要する経費 ・補助額 : 定額(3,000千円) ・実施地区:1地区	0 / 3,000 / 3,000
2. モデル地区連携支援会議開催経費	直接	実施市町村間の連携の確保や支援、事業の取組状況や成果等の情報発信を目的とした会議の開催(年2回)	0 / 69 / 69	
3. プレゼンテーション審査経費	直接	モデル地区選定のための選定委員によるプレゼンテーション審査の開催(年1回)	0 / 0 / 0	
		合計	0 / 3,069 / 3,069	

事業コスト	区分(単位:千円)	26年度	27年度	28要求	28予算案	成果目標の達成状況						
	前年度繰越		16,091			項目	H26末	H27末(見込)	目標	H28		H29目標
	当初予算	16,091	0	3,069	3,069					成果	達成状況	
	補正予算	16,091				ビジョン策定開始地区数	4	1	0			
	合計(A)	32,182	16,091	3,069	3,069	具体化・着手地区数	4	4	1			
	一般財源	16,078	0	3,069	3,069							
	県債											
	国庫支出金	16,091	16,091									
	その他	13	0	0	0							
	決算額(B)	15,671										
概算職員数(人)	3.16	3.16	1.00	1.00								
概算人件費	26,095	26,095	8,258	8,258								
概算事業費(B(A)+C)	41,766	42,186	11,327	11,327								

指摘事項等への対応	(指摘事項等)	(対応)
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		
要求からの主な変更点	要求どおり	